

平成29年度関東倶楽部対抗静岡会場予選競技 組み合わせ及びスタート時間表

(参加者 29倶楽部 ・ 174名)

期日：5月25日(木)

場所：富士カントリークラブ

(18ホール・ストロークプレー)

関東ゴルフ連盟

1番よりスタート

Aクラス

組	時間	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部
1	7:10	勝又 清二	三島	渡辺 久恭	函南	望月 清人	修善寺		
2	7:19	肥田 雅雄	伊東	石川 隆正	南富士	野中 直広	豊岡国際	渡邊 貞男	リバー富士
3	7:28	土井内 信	愛鷹	大高 弘昭	浜松シーサイド	安藤 英俊	東名	望月 一成	朝霧ジャンボリー
4	7:37	神戸 庄二	葛城	古木 政吉	サザンクロス	田中 資一	富士御殿場	山口 賢一郎	富士小山
5	7:46	西郷 巖	伊豆スカイライン	川竹 勝則	フジ天城	北原 弘	伊豆にらやま	小林 祺一郎	富士チサン
6	7:55	山崎 徳雄	富士	中川 雅義	富士宮	橋本 克己	御殿場	相原 和夫	富士平原
7	8:04	向笠 照夫	大熱海国際	高須 茂	富士エース	平田 泰博	沼津	藤原 豊信	十里木
8	8:13	萩原 重行	ギャツビイ	俵 聖徳	富士箱根	堀内 正之	三島	三須 隆幸	修善寺
9	8:22	望月 富士夫	南富士	安達 光宣	リバー富士	大谷 智徳	浜松シーサイド	大塚 正治	朝霧ジャンボリー
10	8:31	尾崎 雅己	サザンクロス	西田 豊明	富士小山	市川 日出夫	フジ天城	中井 教尋	富士チサン
11	8:40	梅原 豊司	富士宮	長島 久	富士平原	山本 忠	富士エース	福嶺 洋	十里木
12	8:49	吉川 裕治	富士箱根	佐々木 雄二	函南	北島 直之	伊東	古木 哲也	豊岡国際
13	8:58	加部 嗣男	東名	久保田 智之	愛鷹	山崎 雅文	葛城	磯部 寿男	富士御殿場
14	9:07	奥村 裕一	御殿場	丹野 富壽	伊豆にらやま	杉山 満	富士	久保田 京二	伊豆スカイライン
15	9:16	太田 敏彦	沼津	井端 和生	大熱海国際	近山 亨	ギャツビイ	鈴木 昭彦	三島
16	9:25	大村 静	リバー富士	近井 保之	伊東	松井 康夫	東名	菊 茂樹	サザンクロス
17	9:34	渡辺 元嗣	富士チサン	渡邊 伸一	伊豆スカイライン	徳永 博明	御殿場	戸井 雅宏	富士エース
18	9:43	一寸木 廣志	ギャツビイ	中原 いおり	函南	野田 展央	南富士	加藤 栄悦	愛鷹
19	9:52	岡野 六郎	朝霧ジャンボリー	斉藤 重一	富士御殿場	佐倉 良司	フジ天城	柴田 泰三	富士
20	10:01	青木 恵一	富士平原	真野 勝俊	沼津	早川 毅	富士箱根	武智 勝	修善寺
21	10:10	仁地 隆雄	豊岡国際	尾藤 博道	浜松シーサイド	中野 雅文	葛城	及川 克彦	富士小山
22	10:19	野上 直彦	伊豆にらやま	土井 致萬	富士宮	山本 哲正	大熱海国際	黒田 隆雄	十里木

10番よりスタート

Bクラス

組	時間	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部
23	7:10	飯澤 亜樹	三島	阿知波 賢二	南富士	種田 敏範	浜松シーサイド		
24	7:19	金光 哲淳	サザンクロス	勝海 直樹	フジ天城	原田 新吾	富士宮	中村 寛	富士エース
25	7:28	渡邊 孝之	富士箱根	阿部 元則	函南	成田 朋正	豊岡国際	佐々木 修二	東名
26	7:37	片岡 健太郎	富士御殿場	工藤 和彦	伊豆にらやま	大内 三次	御殿場	植松 真一	沼津
27	7:46	大島 崇男	修善寺	小林 一三	リバー富士	堀内 芳洋	朝霧ジャンボリー	中村 敦史	富士小山
28	7:55	新海 和樹	富士チサン	横山 登	富士平原	渡邊 享	十里木	高橋 弘幸	伊東
29	8:04	秋山 拓海	愛鷹	松浦 勝志	葛城	鈴木 基支	伊豆スカイライン	渡邊 真羽	富士
30	8:13	高山 卓士	大熱海国際	松本 正之	ギャツビイ	東浦 誠	三島	曾根 大介	豊岡国際
31	8:22	勝又 英文	朝霧ジャンボリー	星名 正	伊豆スカイライン	小原 秀天	富士宮	芹澤 真一	沼津
32	8:31	森 一洋	函南	塩澤 錠司	リバー富士	永田 剛士	葛城	菊地 展弘	フジ天城
33	8:40	曾根 正昭	御殿場	山田 洋司	十里木	鈴木 正和	修善寺	斉藤 信久	愛鷹
34	8:49	小島 哲志	伊豆にらやま	諸星 昭人	サザンクロス	山口 靖人	富士平原	花山 大輔	ギャツビイ
35	8:58	秋山 佳輝	伊東	三橋 寛	浜松シーサイド	太知 祐一	富士御殿場	山下 明史	富士チサン
36	9:07	斉藤 旬	南富士	三上 光彦	富士箱根	中村 正美	大熱海国際	坂田 広一	東名
37	9:16	前山 正隆	富士小山	工藤 哲人	富士	細川 光典	富士エース	青木 拓	三島
38	9:25	中村 博文	リバー富士	荒川 慶量	サザンクロス	垣守 博	富士チサン	酒主 賢二	富士エース
39	9:34	石井 宏典	函南	千田 直幸	愛鷹	大谷 秀雄	富士御殿場	井戸田 照義	富士
40	9:43	勝亦 優甫	沼津	山田 雅司	修善寺	大島 秀樹	浜松シーサイド	小川 陽一	富士小山
41	9:52	村野 文政	富士宮	石倉 雅俊	十里木	宮下 健	伊東	横川 竜希	東名
42	10:01	諸星 幸政	伊豆スカイライン	金田 義隆	御殿場	神尾 秀久	ギャツビイ	勝本 武	南富士
43	10:10	森 昌俊	フジ天城	齋藤 基樹	朝霧ジャンボリー	城 和春	富士平原	稲葉 健治	富士箱根
44	10:19	大橋 研二	豊岡国際	和田 充弘	葛城	岩崎 寛之	伊豆にらやま	東 光治	大熱海国際

競技委員長 鈴木淳

平成 29 年度 関東倶楽部対抗静岡会場予選競技

開催日 : 5 月 25 日(木)

開催コース : 富士カントリークラブ

本競技は日本ゴルフ協会発行のゴルフ規則とこのローカルルールと競技の条件を適用する。

本書に記載の無い事項や追加変更がある場合は競技規定やプレーヤーへの通知文書、または競技会場での掲示物に掲載されるので必ず参照すること。ゴルフ規則によって別に定められている場合や本書に罰が記載されている場合を除き、このローカルルールと競技の条件の違反の罰は、「2 打」とする。

ローカルルール

1. アウトオブバウンズ(規則 27-1)
アウトオブバウンズの境界は白杭をもって標示する。
2. ウォーターハザード、ラテラル・ウォーターハザード(規則 26-1)
ウォーターハザードは黄杭または黄線、ラテラル・ウォーターハザードは赤杭または赤線をもってその限界を標示する。線と杭が併用されている場合は線がその限界を標示する。
3. 修理地(規則 25-1)
修理地は青杭を立て、白線をもってその限界を定める。ただし、次のものを含む。
 - (a) スルーザグリーンの張り芝の継ぎ目(スタンスへの障害は除く)
 - (b) 13 番ホールパッティンググリーン右側の石碑はプレー禁止の修理地とする。
4. 動かさない障害物(規則 24-2)
 - (a) 排水溝
 - (b) 人工の表面を持つ道路に接した排水溝(その道路の一部とみなす)
 - (c) 動かさない障害物と白線でつながれている区域(その動かさない障害物の一部とみなす)
 - (d) 距離標示用の人工のヤーデージマーク(パッティンググリーンの前後のものを含む)
5. コースと不可分の部分
 - (a) 小砂利、ウッドチップ、松葉などを使用して舗装した区域。
 - (b) ウォーターハザード内にある人工の壁や杭でできた構造物。
6. パッティンググリーン上で球が偶然に動かされること
規則 18-2, 20-1 は以下の通りに修正される。
プレーヤーの球がパッティンググリーン上にある場合、その球やボールマーカーがプレーヤーまたはキャディーや携帯品によって偶然に動かされても罰はない。その球やボールマーカーはリプレースされなければならない。このローカルルールはプレーヤーの球やボールマーカーがパッティンググリーン上にありいかなる動きも偶然である場合にだけ適用する。
注: パッティンググリーン上の球が風、水あるいは重力などの他の自然現象の結果として動かされたものと判断された場合、その球はその新しい位置からあるがままの状態プレーされなければならない。また、そのような状況で動かされたボールマーカーはリプレースしなければならない。
7. 電磁誘導カート用の 2 本または 4 本のレール
電磁誘導カート用の 2 本または 4 本のレールは、全幅をもってプレー禁止の修理地とする。ただし、スタンスのみが障害となる場合は、そのままプレーすることもできる。
8. ホールとホール間の白杭
8 番と 16 番ホールの間の白杭を結ぶ線を越えていった球は、球が白杭を結ぶ線の向こう側のコース上に止まっている場合でも、アウトオブバウンズの球とする。
9. 防球ネット
防球ネットに球が近接しているためにスタンスや、意図するスイングの区域の妨げになる場合、規則 24-2b(i)により処置するときは、その障害物の中や下を通さずに救済のニヤレストポイントを決めなければならない。
10. 指定ドロップ区域
12 番ホールにおいて、球がパッティンググリーン右側の防球ネットに近接しているために、スタンスや意図するスイングの区域の妨げになる場合、プレーヤーは、罰なしに、指定ドロップ区域にその球をドロップすることができる(付属規則 I(A)6 を適用する。ゴルフ規則 173 ページ参照)。

競技の条件

1. 参加資格

プレーヤーは競技規定に定められた参加資格を満たさなければならない。

2. 委員会の裁定

委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。

3. 使用クラブの規格

『適合ドライバーヘッドリストの条件・付属規則 I(B)1a』を適用する(ゴルフ規則 176 ページ参照)。

4. 使用球の規格

『公認球リストの条件・付属規則 I(B)1b』を適用する(ゴルフ規則 177 ページ参照)。

5. ゴルフシューズ

正規のラウンド中、プレーヤーが金属製・セラミック製、または委員会がそれと同等と認めた鋳を有するゴルフシューズを使用することを禁止する。この条件の違反の罰は競技失格。

6. プレーの中断と再開

(1) 通常のプレーの中断(落雷などの危険を伴わない気象状況)については、規則 6-8b,c,d に従って処置すること。

(2) 険悪な気象状況にあるため、委員会の決定によりプレー中断となった場合、同じ組のプレーヤー全員がホールとホールの間をいたときは、各プレーヤーは委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。1 ホールのプレーの途中であったときは、各プレーヤーはすぐにプレーを中断しなければならない。その後、委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。プレーヤーがすぐにプレーを中断しなかったときは、規則 33-7 に決められているような罰を免除する正当な事情がなければ、そのプレーヤーは**競技失格**となる。

険悪な状況による中断中は、委員会がオープンと宣言するまで、すべての練習施設はクローズとなる。クローズとなった練習施設で練習しているプレーヤーは練習を止めるように要請される。その要請に従わなかった場合、参加を取消しとすることがある。

(3) プレーの中断と再開の合図について

プレーの即時中断 :	}	カートに備え付けられた放送機器にて通報する。
プレーの中断 :		
プレーの再開 :		

と同時に、本部より競技委員を通じてプレーヤーに連絡する。

7. 練習

ホールとホールの間での練習を禁止する(規則 7-2 注 2)『付属規則 I(B)5b』(ゴルフ規則 181 ページ参照)。

8. キャディー(規則 6-4 注)

正規のラウンド中、プレーヤーが委員会によって指定された者以外をキャディーとして使用することを禁止する。この条件の違反の罰は『付属規則 I(B)2』を適用する(ゴルフ規則 179 ページ参照)。

9. 競技終了時点

競技委員長の成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。

注意事項

1. 競技の条件 5 項において規制されるシューズ以外でもパッティンググリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とすることがある。
2. 予備グリーンは定義上「目的外のパッティンググリーン」であり、球が目的外のパッティンググリーン上にある場合、プレーヤーは規則 25-3 に基づいて救済を受けなければならない。
3. 競技委員会は競技中を含めいつでも、出場にふさわしくないと判断したプレーヤーの参加資格を取り消すことができる。
4. 競技委員会は規則 33-7 に基づき、すべての競技関係者、ギャラリーへの暴言等を含めエチケットの重大な違反があったプレーヤーを競技失格とすることができる。
5. 打放し練習場においては備付けの球を使用し、スタート前の練習は 1 倶楽部 144 球を限度とする。
6. アプローチ・バンカー練習場は、使用禁止とする。 競技委員長 鈴木淳

距離表

HoleNo.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	OUT	
AクラスYards	388	377	154	470	327	415	165	450	360	3106	
BクラスYards	406	387	154	487	369	447	180	475	360	3265	
Par	4	4	3	5	4	4	3	5	4	36	
	10	11	12	13	14	15	16	17	18	IN	TOTAL
	320	158	355	492	379	362	170	460	390	3086	6192
	330	180	400	568	379	362	179	478	410	3286	6551
	4	3	4	5	4	4	3	5	4	36	72